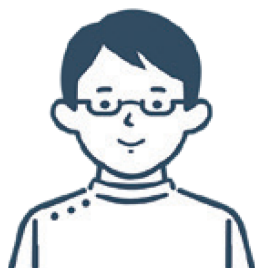


教えて! 市立病院



【今月のドクター】
小児科長
ささ しんいち
笹 真一 医師

ワクチンはさまざまな感染症を予防するために必要不可欠です。ワクチンで防げる病気を適切に予防するには、ワクチン接種率を高く維持することが重要です。日本はまだまだワクチン後進国と言われています。国民全員がワクチンを受ける意義を理解する必要があります。

〈第 117 回〉

ワクチンに関する最近の改定について

■問合せ／市立病院総務課企画財務担当 ☎ 22-2450

ここ数年の間にワクチンに関していろいろな改定が行われていますので、ご紹介します。

- ・ B 型肝炎ワクチンが定期接種になった。
- ・ ロタウイルスワクチンが定期接種になった。
- ・ HPV ワクチンの積極的勧奨が再開された。9 価の HPV ワクチンも定期接種に使えるようになった。接種機会を逃した人を対象に 3 年間のキャッチアップ接種も行われている。
- ・ 四種混合ワクチンの開始時期が生後 3 カ月から生後 2 カ月に変更された。

- ・ 注射の生ワクチン以外は異なるワクチン同士の接種間隔は日数制限を設けなくなった。以前は異なるワクチンの場合、不活化ワクチン後だと 6 日以上、生ワクチン後だと 27 日以上の間隔が必要であった。注射の生ワクチンのみ 27 日以上の間隔が必要である。同じ種類のワクチンを複数回受ける場合はワクチンごとに決められた間隔を守る必要がある。
- ・ 新型コロナワクチンとインフルエンザワクチンが同時接種可になった。インフルエンザワクチン以外は、互いの接種には 13 日以上の間隔が必要である。